

市長タウンミーティング概要

会 場	さつき町集会室
開催日時	令和8年2月15日（日）16：00～17：20

市長との意見交換

①	
質 問	新規会場として、さつき町で市長タウンミーティングが実施されたことを非常にうれしく思っている。さつき町も年数が経ち、建物の老朽化や高齢化が進み、このまま存続したい部分と変えていかななくてはならない部分等いろいろあると思っている。今後も地元として、頑張っていくことをこの場を借りてお約束する。
回 答	市として、できることは支援していきたい。例えば、耐震補助や工事を行う際の公園の提供が考えられるが、提供した公園の面積はどこかで帳尻合わせは必要となる。 丸田地区に大きな公園ができるため、棲み分けも検討していかないとならない。「幼児が遊べる」「ボール遊びが可能」等の特徴を設定していくことも1つと考えている。

②	
質 問	さつき町では高齢化が進んでいるため、自治会の役員決めの際に、なり手がいない。自治会への支援策については、具体的にどのような支援をいただけるのか。
回 答	どの地域においても役員不足の問題があると聞いている。地域に行政職員がいる場合は、職員に役員をやらしてもらうのも1つの案と考える。県とも現状・課題を共有し、協力してもらえないか両者で話し合いを進めています。

③	
質 問	中新田丸田地区の事業で、住民が相当数増えると見込んでいる。これにより厚木駅の利用者が増えると考えているが、改札の位置等の問題について市としてどのような考えを持っているのか。
回 答	本当に難しい問題であると認識している。JR 相模線の複線化など、様々な問題について、JR 東日本も含めて総合的に対応を検討しなければならない。 シェアサイクルが好調で、自転車を使用して駅まで行くこともあるようなので、海老名駅の利用も検討いただきたい。 鉄道会社の意向もあり、改札の位置を変えることはできないと考えている。そういった中で JR 相模線の跨線橋が課題となってくる。エレベーターの設置などのバリアフリー化対応も必要になる可能性があり、大きな課題として受け取っている。

④	
質 問	海老名幼稚園において基準を超えるクラス数となっており、県から対応を求められている。クラスを減らすのは難しい状況。さつき町第二公園を少しでもお借りされると助かるが、それが可能か否かお聞きしたい。
回 答	さつき町開発の際の提供公園であるため、市が管理しているが、さつき町の皆様の合意がなければ貸すことができない。皆様の認識が一致すれば市も前向きに進める。行政が取りまとめるのではなく、住民でやっていただきたい。合意されれば、小さい子どもたちが入れるような公園にしていけば問題はない。繰り返しとなるが、合意が必要だということが、前提になる。

⑤	
質 問	<p>秋ごろから渇水が続き、地下水も流れない乾燥状態で、火事なども心配する中で、市全体での緑のまちづくりを進めていただき、冷暖房を使わなくて済むようなまちにしてほしい。</p> <p>また、海老名の大櫓について枯れ木になってしまうのではないかと心配している。周囲の舗装に透水性のアスファルトを使うなど、大櫓の根に水が届くようにする対策はできないのか。</p>
回 答	<p>本市は中心部に田んぼが位置するため、農地を含めてまちづくりを進めていかざるをえないのが現状。今後ももう少し市街地を広げていくことにはなると思うが、その点をご理解いただくほかないと考えている。</p> <p>田んぼを残してほしいとのご意見もあるが、農家の方が農地を手放す際に、市で田んぼを買い取り、代わりに農業を続けていくことは不可能。農業政策は国レベルで対応していかないと、もうどうにもできないと考えている。</p> <p>地下水の関係については、事業者に影響が出にくい工法を採用するようにしていただいているので、ご理解をいただきたい。</p> <p>大櫓については、文化財係に状況を確認の上、適切に対応させていただく。</p>

⑥	
質 問	<p>海老名市みんなのまちづくり活動等支援制度について、使いづらそうだなと感じている。団地の中でも使える可能性があるようなものなのか、お聞かせ願いたい。</p>
回 答	<p>地域で取り組んでいただいていることが市民活動として認められるかという問題があるので、団地でのご利用は難しいかもしれない。</p> <p>こういった形で市が支援できるのかという意図だと思うので、自治会支援策の中での対応も考えていきたい。</p>

⑦	
質 問	<p>海老名市では高齢者の相談窓口はあるが、終活支援について不十分と感じている。「葬式の段取り」「亡くなった時に必要な手続き」「住んでいる家をどうするか」等について簡単にまとめている自治体もあるため、海老名市においてもぜひお願いしたい。</p>
回 答	<p>社会福祉協議会はこれまで幼児から高齢者までの全年齢を対象に取り組んできたが、今後は高齢者に特化していくと聞いており、ご質問の件も含めた対応をしていくものと認識している。</p> <p>子どもや子育て世帯については「えびなこどもセンター」があり、障がい者の方は「障がい者支援センター」が整備され、それぞれで棲み分けができるものと考えている。</p> <p>また、行政と異なり、社会福祉協議会は民間の立場で相談・業者の紹介等を行うことができ、より寄り添った対応が可能となると思う。</p>